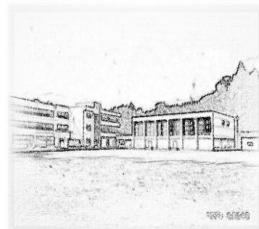


# 梅の里



1月号

令和6年

12月24日（火）発行

## しなやかに「新しい伝統づくり」にまい進しましょう

校長 四十住基子

令和6年を振り返ると、何をするにも工夫改変が必要でした。特に学校行事は、子ども達の安全を配慮して、開催の有無、開催の時期、場所、内容、準備の段取り、役割分担を常に検討する一年でした。それも、すべてを大人が決めてしまうのではなく、子ども達の意思や意見を取り入れることにも注力しました。6年生を中心に児童たちは期待に応え、大人顔負けの協議をして、自分たちの思いや願いを届けてくれました。

児童達は、何のためにやるのか、今年やることの意義は何か、自分たちはどうしたいのか、どうすれば全校みんなが楽しめるのか、喧々諤々意見をたたかわせてくれました。運動会、鼓笛演奏、いいフェス、遠足や修学旅行、そしてマラソン大会など、子ども達の意見を聞きながら大事なことを決めてきたように振り返って思います。一つの例としてマラソン大会を取り上げます。安全を最優先すれば市営陸上競技場のグラウンドを周回するしかないかな、と初めは思いました。しかし、6年生達は「公道を走りたい、坂道も欠かせない」「これまでのマラソン大会の歴代記録を途切れさせたくない」と訴えました。私も、子ども達の願いに応えるべく、本気で飯田小近辺の公道を走れないか、警察や関係各所へのお願いや現地視察を繰り返しました。結果、今年度のマラソン大会の形にしたいと6年生に話しに出向きました。彼らは納得してくれました。「でも、今年の飯田小の僕らも頑張った」という証として『新・歴代記録』掲示を作つてほしい」という、素敵なお願いを伝えてくれました。ご存じのとおり令和6年度マラソン大会は、天候にも恵まれ、大勢の保護者の参観応援、中学校の窓から先輩たちの応援をいただき、無事に開催することができました。紆余曲折しながらも、子ども達と対話しながら実施に漕ぎつけられたことを喜びました。真剣に協議し、真剣に行事に臨んだ児童達に惜しみない拍手を送りました。また、マラソン大会に限らず今年1年、児童のために様々な学校行事や教育活動について親身になり、協力してくださった保護者、地域、そして関係各所の皆さんに心から感謝いたします

来る令和7年の暦は乙巳（きのとみ）。「乙」は困難があっても紆余曲折しながら進むイメージ、「巳」は蛇ということで「再生と変化」を意味するそうです。脱皮し強く成長する蛇のごとく、しなやかに変化にあわせて伸びていく年となることを願います。変化にあわせて成長できた飯田小児童が願った『令和6年度からの』校内マラソン大会歴代記録のボードを、この度作りました。製作費用は全国からいただいた寄付金から出させていただきました。掲示場所は、体育館廊下。これまでの歴代記録ボードと向き合う位置どりです。「新しい伝統をつくる」そんな意気込みで、令和7年も地域と共に飯田小学校の歩みを進めていきたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願ひします。

1月

の主な予定

日	曜	行事・会議
1	水	毎週火曜日は清潔チェックです。
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	児玉 SC
7	火	袖司書 児玉 SC
8	水	3学期始業式 14:30 下校 児玉 SC 書初め大会(～10日までラントルームで展示)
9	木	委員会(6限目) 児玉 SC
10	金	いじめ・携帯アンケート PTA 三役会 後藤 SC ジリアン先生
11	土	飯田町百人一首かるた大会
12	日	
13	月	
14	火	かがやき集会 指導主事計画訪問
15	水	街頭指導 クラブ 15:30 下校 防犯ブザー点検 児玉 SC
16	木	朝の読み聞かせ GTEC(5・6年生)後藤 SC
17	金	おはよう挨拶 児玉 SC ジリアン先生
18	土	
19	日	市百人一首大会
20	月	全校集会
21	火	袖司書
22	水	水曜日課 14:30 下校
23	木	
24	金	なわとび集会 授業参観・学級懇談会 ジリアン 中学校入学説明会 ベルマーク委員会 後藤 SC
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	児玉 SC
29	水	水曜日課 14:30 下校 児玉 SC
30	木	児玉 SC
31	金	後藤 SC バイオリン演奏会 ジリアン先生

2月

の行事予定

3日(月)	街頭指導	児玉 SC
4日(火)	袖司書	児玉 SC
5日(水)	水曜日課 14:30 下校	児玉 SC
6日(木)	朝の読み聞かせ	後藤 SC
7日(金)	おはよう挨拶	ALT 児玉 SC
10日(月)	いじめ・携帯アンケート 新1年生入学説明会・お招き会 かがやき集会	
12日(水)	委員会 15:30 下校	児玉 SC
13日(木)	児玉 SC	
14日(金)	街頭指導 防犯ブザー点検 ALT 後藤 SC	
17日(月)	全校朝会	児玉 SC
18日(火)	袖司書	児玉 SC
19日(水)	クラブ 15:30 下校	児玉 SC
20日(木)	朝の読み聞かせ	後藤 SC
21日(金)	ALT 児玉 SC	
22日(土)	卒業を祝う会 拡大熟議	
25日(火)	卒業を祝う会振替休業日	
26日(水)	水曜日課 14:30 下校	
27日(木)	後藤 SC	
28日(金)	ALT	

### 一作品表彰一

#### 税についての作品 書道の部

金賞	5年	宮下	佳子
銅賞	6年	石尾	恒貴

#### 防 火 書 道 コンクール

優秀賞	4年	宮田	泰成
努力賞	5年	宮下	佳子

#### 市 読 書 感 想 画 コンクール

特選	5年	濱野	夢萌子
選	1年	乙脇	栄一郎
	2年	寺山	碧衣



3年	川元	祥
5年	濱	心花
6年	濱岡	晃久

濱野 海

#### 千代女少年少女全国俳句大会

入選	3年	向	悠水
	6年	新	泰地

## 11月28日(木) 正院小と合同学習会【1・2年生】

東京から横山弘美先生をお迎えして、正院小学校の1、2年生と一緒にホワイトボードミーティングを行いました。自分のことや自分たちの学校の好きなところを紹介したり、ホワイトボードにたくさんの友だちからサインを書いてもらったりしました。色々な人と関わる中で楽しく質問の技やあいづちの打ち方を学ぶことができました。



## 11月30日(土) 生き物観察報告会【3年生】

地震の影響で今年は、上戸の生き物を観察することになりました。観察をしていくうちに、海に近い飯田に見られる生き物と山に近い上戸で見られる生き物の違いが見えてきました。報告会では、上戸と飯田で見られる生き物を比較して発見したことを中心に発表してきました。どの児童も聞いている人に伝わるように、ゆっくり大きな声で発表することができました。

たくさんのがいたけれど、あんまりきんちょうしませんでした。ぼくは発表で、ゆっくり大きな声でみんなにわかりやすいように区切って話すことに気をつけました。上手に発表できたので、よかったです。終わってから、みんながはくしゅしてくれてうれしかったです。ぼくは、これからも生き物を大切にしていきたいです。来年の三年生にもがんばってもらいたいです。 (3年 石尾啓喜)



## 11月30日(土) SDGs学習取組報告会【5・6年生】

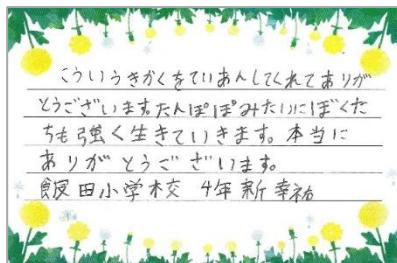
5年生は「飯田町のためにできること～祭りでみんなに元気を～」というテーマで7月に行った『飯田つ子 とろ山祭り』について発表しました。6年生は「飯田の町を飯田つ子の力で元気に～今、自分たちにできること～」というテーマで未来の株洲市に対する自分たちの考えを発表しました。どちらの学年も「飯田町」への思いがあふれる発表でした。



今回の発表では「飯田のためにできること」をテーマにがんばりました。この発表会を成功させるために、たくさんの練習をしたので絶対に成功させたいと思いました。すぐに自分たちの番がきました。緊張したけれど、練習の成果を活かして、大きな声でまちがえず、発表できたのでよかったです。中学校でまた発表会があるのでとても楽しみです。 (6年 濱岡 晃久)

## 12月3日(火) 復興を願う合唱の交流「たんぽぽ」合同合唱【3・4年生】

岐阜県安八郡輪之内町の音楽会に「復興に向けて頑張っている能登の方々に自分たちの歌声を贈りたい」と『たんぽぽ』という歌を歌ってくれました。その後、福東小の皆さんと一緒に『たんぽぽ』を歌い、合唱で交流をしました。



## 12月10日(火) 人権集会【全校児童】

人権集会プロジェクトチームによる人権集会を行いました。劇やクイズを通して「自分も人も大切にする人権」について、みんなで考えました。その後、各クラスで考えた人権目標を発表しました。人との関りについて、人権という視点で改めて見つめ直すよい機会となりました。



### 令和6年度 人権標語

やさしい気もちで  
学校みんなが  
にこにこえがお

明るく元気な  
やさしさあふれる  
飯田つ子

いじめなくして  
えがおいっぱい  
みんなが主役の飯田小

心をつなごう  
いじめなし  
思いやり

大丈夫?どうしたの?  
ふわふわ言葉で  
ニッコニコ

五十三人の絆  
「一人一人の個性  
みんなでつくる学校」

一人一人の個性があふれ  
他人も自分もリスペクト

1年生

2年生

3年生

4年生

こうめ

5年生

6年生

#### 人権集会後の感想

- 人の心を大事にして好きなものも人それぞれなんだと思いました。
- 人が好きなものを笑わないようにしたいです。
- 改めて人権の大切さに気づくことができました。
- どのクラスの標語も人権のことをよくわかっていると思いました。



令和6年度 缶バッヂ